

スマートコミュニティ部会が先進事例見学会を開催

- ・平成 30 年 11 月 15 日(木)、MBTコンソーシアム・スマートコミュニティ部会(リーダー:関西電力㈱小南勤氏)は、再生可能エネルギーとスマートコミュニティの基礎知識の醸成、課題整理等を行ない、具体的な事業モデルの検討に繋げていくことを目的に、スマートコミュニティの先進事例見学会を開催し、会員企業さま、自治体さま、奈良医大教職員さま、合わせて15名ご参加いただきました。
- ・見学先は、堺市三宝水再生センターおよびイオンモール堺鉄砲町で、全国初の取組である「下水再生水複合利用事業」について、知見を広めました。
- ・はじめに、堺市三宝水再生センターを訪問し、堺市の下水道事業および再生水供給事業の概要説明をお聴きました。その後、下水処理施設内に移動し、実際に下水が高度処理されていく過程を見学しました。沈砂池⇒最初沈でん池⇒反応タンク⇒最終沈でん池へと送られた下水は、無色、無臭の再生水へと変化していました。
- ・次に、その下水再生水を複合利用しているイオンモール堺鉄砲町へ移動しました。イオンモール堺鉄砲町には、三宝水再生センターからは毎日 1500 トンの下水再生水が送られてきており、はじめに給湯や空調の熱源として活用される。これは、下水再生水が外気温と比較して、冬は暖かく(18℃)夏は冷たい(30℃)という特徴を活かしたものであり、このシステムは国の補助金で構築されていた。更に、熱利用後の下水再生水は水源として、一部(200 トン)は膜処理施設でろ過後、イオンモール内のトイレ洗浄水とせせらぎに再利用し、残りの 1300 トンは堺市の環濠につながる内川緑地のせせらぎに水質改善用水として放流されていました。
- ・参加者からは、「下水の高度処理法を目の当たりでき貴重な体験となった」「下水の持つポテンシャルについて理解が進んだ」等の感想を頂きました。また、各見学施設におきましても、時間目一杯まで質問応答がなされるなど、有意義な見学会となりました。



【堺市三宝水再生センター】



【イオンモール堺鉄砲町】